

母性看護学方法論Ⅱ	2年・後期	1単位	准教授 西川 明美 助 教 倉林 梢
科目カテゴリー	人としての教養	科目ナンバリング	33210792

1. 授業のねらい・概要

本科目は、産褥期における褥婦の身体的、心理的・社会的特徴と健康・健康問題の看護について学習する。さらに、新生児の生理的特徴と異常を理解し看護を学ぶ。

2. 学修の到達目標

1. 褥婦の身体的、心理・社会的特徴と異常について理解できる。
2. 褥婦の看護とその家族への援助について理解できる。
3. 新生児の生理的特徴と異常、胎外生活適応のための看護について理解できる。
4. 育児支援の必要性について理解できる。
5. 褥婦・新生児に対する看護過程の展開ができる。

3. 授業の進め方

講義，演習，グループワーク

4. 授業計画

1. 産褥期の経過①〈退行性変化・全身の変化〉 褥婦と家族の看護① 異常のある褥婦の看護① (西川明美)	6. 新生児のアセスメント (西川)
2. 産褥期の経過②〈進行性・心理的变化〉 褥婦と家族の看護② 異常のある褥婦の看護② (西川)	7. 褥婦と新生児のアセスメント (西川)
3. 褥婦のアセスメント (西川)	8. 演習内容の説明・演習事前課題 (倉林)
4. 新生児の生理① 出生直後の観察と看護 新生児の異常と看護 (倉林梢)	9. 演習：褥婦の健康診査と育児技術 (倉林・西川)
5. 新生児の生理② 退院までの観察と看護 (倉林)	10. 演習：新生児の観察と沐浴 (倉林・西川)
	11. アセスメントと演習まとめ (西川)
	12. 看護過程の展開：産褥・新生児期① (西川)
	13. 看護過程の展開：産褥・新生児期② (西川)
	14. 看護過程の展開：産褥・新生児期③ (西川)
	15. 看護過程の展開：産褥・新生児期④ (西川)

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）80%，授業態度・課題レポート20%で、総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：森 恵美他（2019）：系統看護学講座 母性看護学[2] 母性看護学各論 医学書院
横尾 京子他（2019）：ナースンググラフィカ 母性看護学③ 母性看護技術第4版 メディカ出版
太田 操（2017）：ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程 第3版 医歯薬出版

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲について最低1時間の予習及び授業内容について1時間以上の復習を行なうこと。

8. 受講上の留意事項

母性看護学実習Ⅰ，母性看護学実習Ⅱの先修科目である。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は，教員が内容を確認して返却する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。